にらさき遺産めぐり 第77回

人の優しさを伝える
梵鐘型の供養塔

火山噴火や異常気象の報道を耳にすることがありますが、江戸時代の先人たちも、気象の変化などに苦しんだことがあります。その一つが天明の大飢饉で、江戸四大飢饉の一つに数えられています。その大飢饉が発生した1780年頃のお話を伝える珍しい形をした供養塔が穴山町重久集落の南端の墓地の一角にあります。

高さ60㎝・直径32㎝の石でできた梵鐘型の供養塔、その台座には、こんなことが刻まれています。

今から235年程前の江戸時代中期の天明の頃、福泉寺の住職をしていた万機和尚が、村人の生活に役立つからということで梵鐘を作ることを計画しました。しかし、ちょうどその頃は大飢饉でした。村人の生活も苦しいから、延期をした方が良いと恒右衛門さんが和尚さんに訴えました。梵鐘作りは中止となり、そのことに嘆き悲しんだ和尚さんは釜無川に身を投げてしまいました。時は過ぎ、明治11年に恒右衛門さんの子孫が万機和尚さんの魂を供養するために梵鐘型の供養塔を作り、全600巻の大般若波羅蜜多経で供養しました。

和尚さんの村人を思う気持ち、延期を進言した村人の気持ち、そして進言した村人の子孫の気持ち、どの気持ちも相手に対する優しさを今に伝えている供養塔といえます。

（記事 文化財担当　閏間）

にらみん

国際交流しませんか
交換留学生ホームステイ・ホストファミリー募集

市では、姉妹都市の米国フェアフィールド市と交換留学生による相互交流を行っており、今年も引率者を含む７名が韮崎市を訪れることから、ホストファミリーを募集します。日本にいながら多様な価値観や文化を共有し、素敵な体験ができるチャンスです！ご応募をお待ちしています。

■期　　間　７月12日（火）～８月１日（月）
■応募締切　５月13日（金）※企画財政課へ直接申込
■申し込み・問い合わせ　韮崎市国際交流実行委員会事務局
（企画財政課 企画推進担当内）（内線 356）

市の人口	4月1日現在	（前月比）
男	15,114人（うち外国人172人）	－44人
女	15,290人（うち外国人261人）	－76人
計	30,404人（うち外国人433人）	－120人
世帯数	12,459世帯	－24世帯

●国民健康保険より

4月に韮崎市国民健康保険で支払った額（保険者負担額）は、161,463,764円（前年同月比1.09%増）で、１人あたりの保険者負担額は、21,327円（前年同月比 4.51%増）でした。引き続き健康に気をつけ医療費の節約にご協力ください。

●発行：韮崎市　〒407-8501　山梨県韮崎市水神一丁目 3-1　●編集：企画財政課企画推進担当　●毎月１日発行
●問い合わせ：　TEL 0551-22-1111　FAX 0551-22-8479　●URL：http://www.city.nirasaki.lg.jp/